

資料No. 2

令和元年度保健事業の推進について

[目 次]

— 保健事業の方針 —

1 妊娠・出産・子育て安心応援事業	1
2 女性のがん検診事業	3
3 和食の推進	4
令和元年度 妊娠・出産・子育て安心応援事業体系図	5
令和元年度 母子保健事業一覧	6
令和元年度 成人保健事業体系図	7
令和元年度 栄養・食生活改善事業体系図	8
令和元年度 予防接種事業体系図	9
令和元年度 予防接種事業一覧	10

保健事業の方針

「健康・笑顔・まちプラン」の計画期間の最終年度であることから、現行計画の評価と次期計画の策定を行います。昨年に引き続き、妊娠・出産・子育て支援の充実、好ましい生活習慣の定着及び食育の一環として和食推進などを重点的に取り組みます。
また、関係機関との協働により、市民の主体的な健康づくりを支援します。

■計画（保健事業）の目的

全ての市民が、ともに支え合いながら、希望やいきがいをもち、健やかで心豊かに暮らせるまちの実現を目指します。

■施策方針

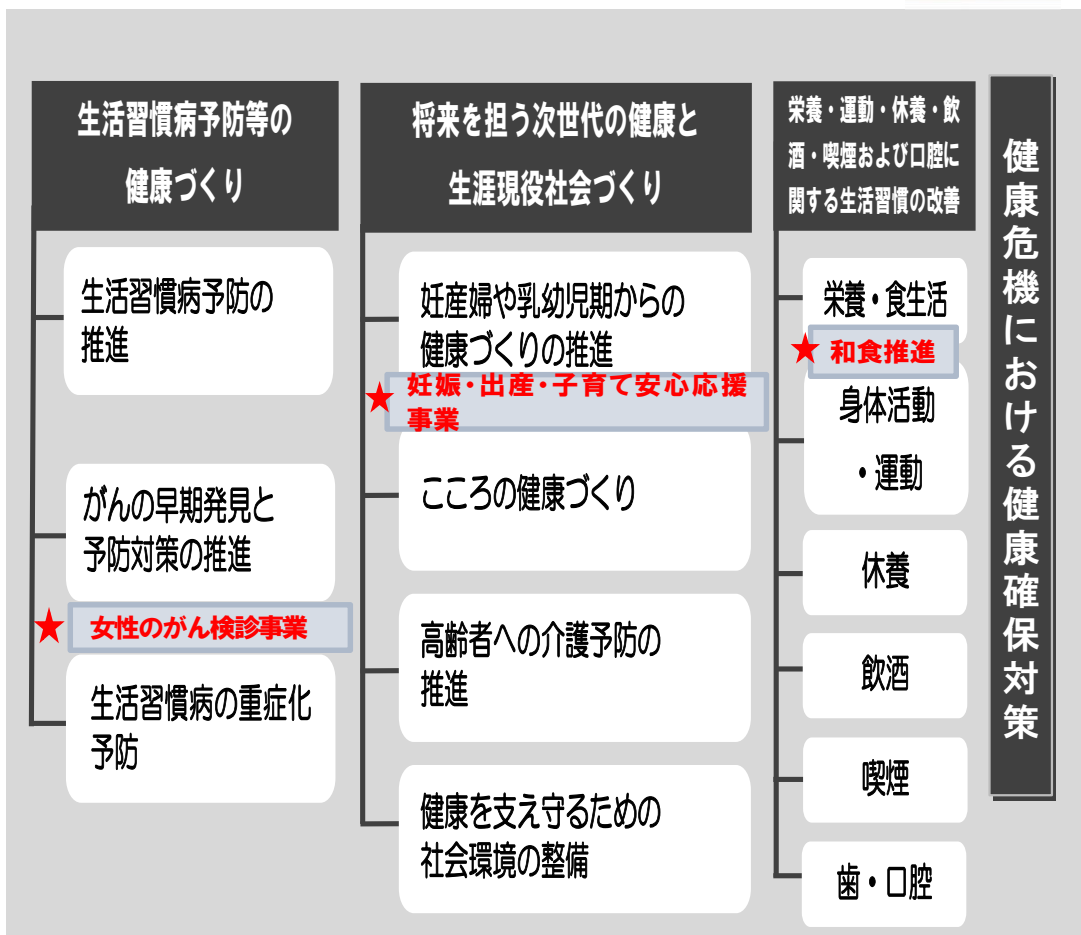
- 一人ひとりが主役、笑顔ですすめる健康づくり
- 愛情たっぷり、こころつながる健康づくり
- 健康でしあわせに暮らせる地域づくり

■キャッチフレーズ

健康づくりで笑顔を広めよう！
こころもからだも元気なまち かつう

■健康づくりの施策体系

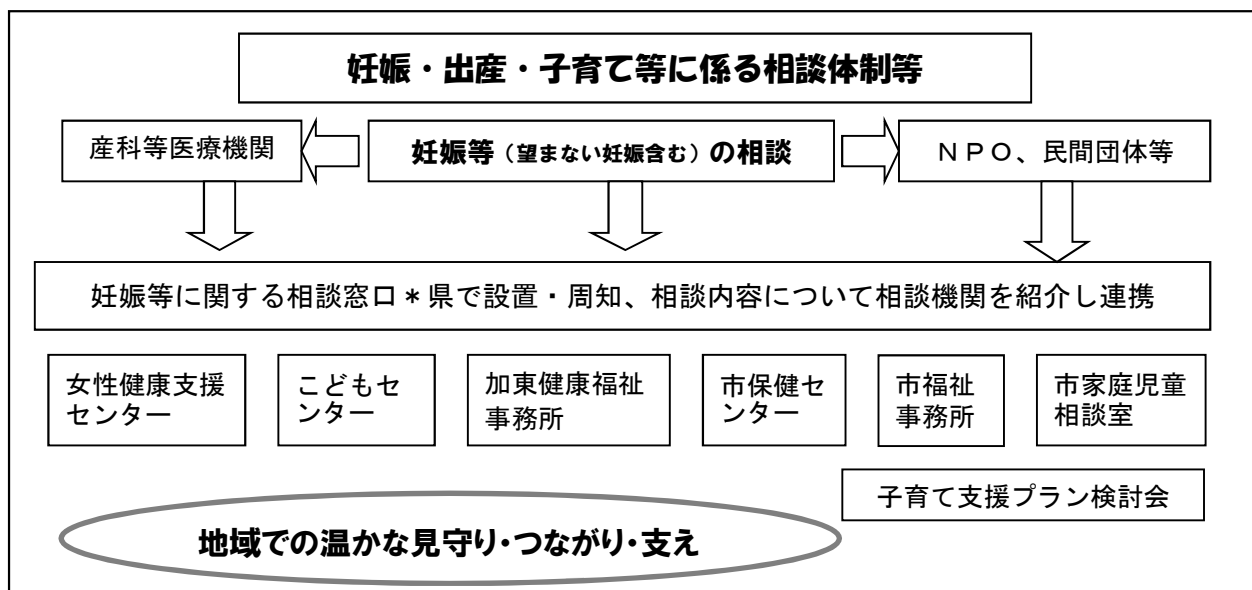
★ 重点事業



1. 妊娠・出産・子育て安心応援事業


【健康づくりの施策体系】 (健康・笑顔・まちはプラン)	【推進施策】 妊産婦や乳幼児期からの健康づくりの推進
将来を担う次世代の健康と 生涯現役社会づくり	【みんなの目標】 妊産婦が安心して自分の望む妊娠・出産期を 過ごすことができる

取組の目的	妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する様々な悩みに円滑に対応するため、保健師等が専門的な見地から相談支援を実施し、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援体制を構築する。						
背景	心身の不調や育児不安があることなどから支援が必要となる妊産婦が増加している。出産・子育てサービスの充実に加え、複雑化する課題や相談については、関係機関との連携を図り、包括的な個別支援が必要である。						
実施計画	<ol style="list-style-type: none"> ① 保健師が、母子健康手帳交付時に全ての妊婦と面接を行い、個別プランを策定し、安心安全な妊娠期を過ごすとともに出産準備を支援する。また、必要な妊産婦に対しては関係機関と協力して支援プランを策定しサービスの導入や医療機関等との連携を行う。 ② パパママクラスの実施回数を維持し、希望者が参加しやすい体制を整え、妊娠・出産・育児について、家族の理解や夫の育児参加を促進する。また、妊婦歯科健診を年2回パパママクラス同日に実施し、妊婦の歯科保健の推進を図る。 ③ 育児不安が強い方や家族等から産後に家事・育児など十分な援助が受けられない方を対象に宿泊型またはデイサービスによりケアが受けられる産後ケアの費用を助成する。 						
期待できる効果	支援を必要とする妊婦・産婦の不安が軽減し、安心して出産・子育てができる。						
評価指標	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">指 標</th> <th style="text-align: center;">R1 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合（4か月児健診）</td> <td style="text-align: center;">90% <small>（市計画H30目標値）</small></td> </tr> <tr> <td>父親の育児参加について「よくやっている」人の割合（4か月児健診）</td> <td style="text-align: center;">68%</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	R1 目標値	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合（4か月児健診）	90% <small>（市計画H30目標値）</small>	父親の育児参加について「よくやっている」人の割合（4か月児健診）	68%
指 標	R1 目標値						
ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合（4か月児健診）	90% <small>（市計画H30目標値）</small>						
父親の育児参加について「よくやっている」人の割合（4か月児健診）	68%						
現在連携している 組織・団体等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 赤ちゃん訪問（民生児童委員）・ 在宅保健師、助産師 ・ 母子保健推進員 ・ 児童館 ・ 加東健康福祉事務所 ・ 市福祉事務所 ・ 産科・小児科医療機関、助産所 ・ 他市町保健センター 						



不育症治療費用助成
 不育症と診断された方を対象に、指定の検査や治療にかかる費用の助成を行います。

母乳相談（月2回）（予約制）
 母乳の飲ませ方や抱き方・・・
 母乳が足りているか心配・・・
 など母乳についての相談に応じるため助産師による相談日があります。



産後ケア費用助成
 出産後、育児を手伝ってくれる人がいない、育児に不安を感じているなど、育児等のサポートが必要な方を対象に宿泊型、デイサービスにより、ケアを受けられる産後ケアの費用の助成を行います。乳房ケアについては、産後1年未満の方を対象に助成を行います。

パパママクラス（年5回）
 沐浴体験、妊婦体験を通して父親に妊婦の大変さを感じてもらい、妊娠中や産後の家事・育児参加へのきっかけとなるように働きかけています。
 妊娠・出産・子育て安心パートナーが、参加者にやさしく話しかけ、対話で信頼関係をつくっています。

新生児聴覚検査費助成
 聴覚に異常がある児の早期発見・早期治療を図るために、すべての新生児を対象として新生児聴覚検査にかかる費用を全額助成します。

産後ママのリフレッシュ講座と相談会（2回）
 こころのリフレッシュの大切さについての講座や生活問題・就労問題・子育て支援サービス等についての相談会を開催します。
 悩みを気軽に相談でき、早期に相談窓口を知るきっかけとなることで、産後うつ予防やストレスの軽減を図ります。

妊婦歯科保健の推進
 母子健康手帳交付時に妊婦歯科健診の受診とかかりつけ医について推進しています。また、まちぐるみ総合健診やパパママクラス時に年2回歯科健診を開催し、妊婦が受診しやすいよう機会を設けています。

2. 女性のがん検診事業

【健康づくりの施策体系】 (健康・笑顔・まちプラン)	【推進施策】 女性のがん検診の受診促進
がんの早期発見と 予防対策の推進	【みんなの目標】 女性特有のがんについて正しく理解し、 がん検診の受診により早期発見に努める

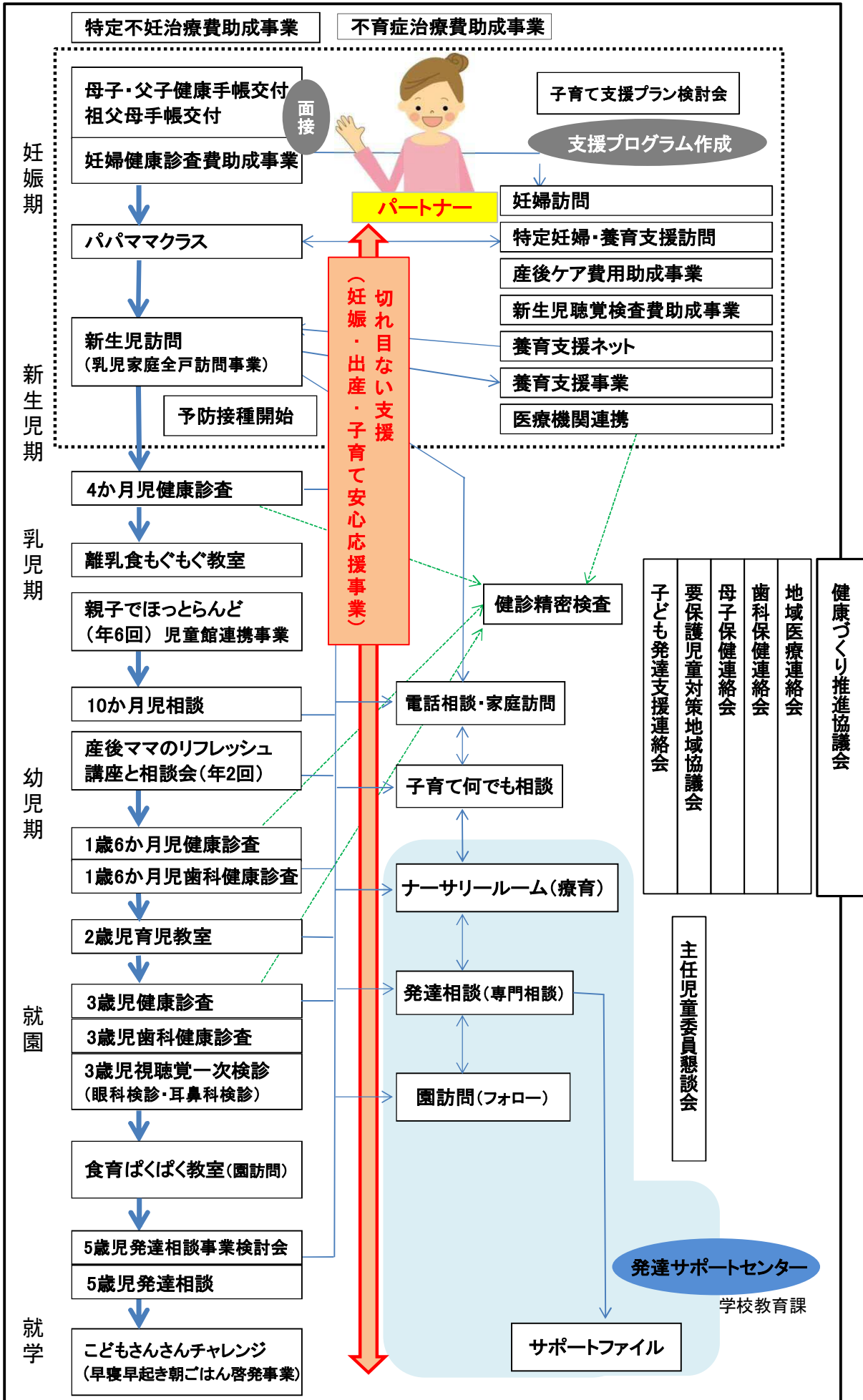
取組の目的	<p>子宮頸がんは、標準化死亡比(SMR)が104.6と全国標準値を上回っているが、他のがん検診と比べ受診率が低い。特に 20～30 代の若い世代の受診率が低迷している。子宮頸がんについての知識の普及・啓発を行うことで、がんの早期発見と予防対策の推進を行う。</p>						
背景	<p>加東市における子宮頸がんの受診率は、15.1%で県平均の 15.3%を下回っている(平成 29 年度がん検診実施状況調査)。また、近年、子宮頸がんは 20 歳代～30 歳代で増加しているが、加東市での検診受診者数が最も多い 60 歳代の 154 名と比較して、20 歳代では 39 名、30 歳代では 61 名と少ない。今後、検診受診の必要性について市民に広く啓発を行うとともに、子育て世代や働く世代の受診行動につながるような環境づくりが必要である。</p>						
実施計画	<ol style="list-style-type: none"> ① 休日に集団検診を開催 ② 子育て世代の女性が参加する保健事業で、啓発チラシを配布 ③ 集団検診申込者のうち、集団検診未受診者への個別検診再勧奨 ④ 集団検診における託児の実施 ⑤ 播磨看護専門学校の学生へ受診勧奨 						
期待できる効果	<p>市民ががん検診受診の重要性を理解したうえで、受診しやすい環境づくりをすることで、受診行動につながり、子宮頸がんを早期発見・早期治療、自分自身の健康意識を高めることができる。</p> <p>市民同士で検診受診勧奨の声をかけあうことで、地域全体の健康意識を高めることができる。</p>						
評価指標	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>R1 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子宮頸がん受診人数</td> <td>637 人</td> </tr> <tr> <td>20 代、30 代の受診人数</td> <td>110 人</td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	R1 目標値	子宮頸がん受診人数	637 人	20 代、30 代の受診人数	110 人
評価指標	R1 目標値						
子宮頸がん受診人数	637 人						
20 代、30 代の受診人数	110 人						
現在連携している 組織・団体等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小野市・加東市医師会 ・ 兵庫県健康財団 ・ 集団・個別検診実施医療機関 ・ 母子保健推進員 ・ いずみ会 						

3. 和食の推進

【健康づくりの施策体系】 (健康・笑顔・まちフラン) 栄養・運動・休養・飲酒・喫煙 および口腔に関する生活習慣の の改善	【推進施策】 栄養・食生活
	【みんなの目標】 栄養バランスのとれた食事や野菜を摂取する ことの大切さへの理解を深める

取組の目的	<p>食育推進の一環として、11月24日を「かとう和食の日」とし、和食を推進する。和食を推進することで、バランスの良い食事の実現、「だし」のうま味を活かした料理の普及、食事の作法の向上を図ることで、健康増進、生活習慣病の発症や重症化予防、食文化の継承を図っていく。</p>						
背景	<p>栄養における課題(栄養バランス、野菜の摂取量不足等)から、市では健康増進計画に基づき、正しい食習慣定着に向けた食育推進を行っている。また、国では、第3次食育推進計画において、和食文化が無形文化遺産に登録されたことを踏まえ、和食の推進を提唱している。</p>						
実施計画	<p>①「かとう和食の日」が全市を挙げて家庭や地域で楽しめる日となるよう啓発や広報活動を実施する。</p> <p>②ライフステージごとの和食による食育推進活動を実施する。</p> <p>③和食レシピ集を作成し、家庭や地域・学校へ配布し、和食料理の普及を図る。</p>						
期待できる効果	<p>「だし」のうま味を活かした和食の推進を行うことで、減塩料理の普及、食事の作法の向上等の効果が得られる。これらの効果をもとに、加東市健康増進計画に定める「子どもから高齢者まで生涯にわたる健全で豊かな食生活の実現」を目指す。</p>						
評価指標	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>R1 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>和食レシピ集配布</td> <td>5,000 冊</td> </tr> <tr> <td>学校給食や健康教室等での和食レシピの活用</td> <td>3 回以上</td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	R1 目標値	和食レシピ集配布	5,000 冊	学校給食や健康教室等での和食レシピの活用	3 回以上
評価指標	R1 目標値						
和食レシピ集配布	5,000 冊						
学校給食や健康教室等での和食レシピの活用	3 回以上						
現在連携している組織・団体等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会 ・ 社高校 ・ こども教育課 ・ いずみ会 ・ 農政課 ・ 婦人会 ・ 商工会 						

令和元年度 妊娠・出産・子育て安心応援事業体系図



令和元年度 母子保健事業一覧

<実施場所> 加東市保健センター(市役所2階)

●●印の事業は対象者には郵送でご案内します(約1か月前)。

事業名	実施日	受付時間	内容
特定不妊治療費助成		随時	・特定不妊治療にかかる費用の助成 (★1回あたり上限10万円) ※対象条件あり
不育症治療費助成		随時	・不育症治療にかかる費用の助成 (1年度において1人あたり上限15万円、通算助成回数は問わない) ※対象条件あり
妊婦健康診査費助成		随時	・妊婦健康診査にかかる費用の助成 (1人14回、上限10万円)
新生児聴覚検査費助成		随時	・新生児聴覚検査にかかる費用を全額助成
母子・父子健康手帳交付 祖父母手帳交付(希望者)	火曜日	8:30~17:15	・母子・父子健康手帳交付 ・妊娠・出産に関する相談 ・妊婦健康診査費助成券発行 ・祖父母に対し、今の育児法を知ってもらうための情報提供
パパママクラス(★要予約) 妊婦歯科健診(★要予約)	5月、7月、9月* 12月、2月*	9:00~9:20	・妊娠中の生活や栄養 ・沐浴体験 ・パパの妊婦体験 ・妊婦体操 ・個別相談 ※妊婦歯科健診(9月、2月のみ)(★要予約)
妊娠・出産・子育て 安心応援事業 (産後ケア費用の助成)	月~金曜日	8:30~17:15	・妊娠・出産・子育て安心パートナーによる支援 ・個々に応じたきめ細やかな相談支援 ・妊娠・出産・育児までの適切な情報提供 ・産前・産後支援のコーディネーター ・産後ケア(宿泊・デイ・乳肩ケア)費用の助成
産後ママのリフレッシュ講座 と相談会	7月・12月	9:30~9:50	・産後ママを対象とした育児ストレス予防のための講座 ・講話、ハンドマッサージ、リラックスタイム ・総合相談会(希望者への個別相談)
新生児訪問	生後28日以内に連絡調整します		・保健師、助産師による家庭訪問 ・体重測定 ・育児相談
母乳相談(★要予約)	第2木曜日	9:00~11:00	・助産師による母乳相談、授乳指導
	第4木曜日	13:15~14:00	
●4か月児健診	第4木曜日	13:15~14:00	・一般健康診査 ・離乳食講話 ・育児、栄養相談
●10か月児相談	第4木曜日	9:00~9:30	・身体計測 ・育児、栄養相談 ・離乳食講話、試食
●1歳6か月児健診	第1木曜日	13:15~14:00	・一般健康診査 ・歯科健康診査 ・育児、栄養相談 ・心理相談(希望者)
●2歳児育児教室	第1木曜日	9:00~9:30	・身体計測 ・育児、栄養相談 ・歯磨きチェック ・心理相談(希望者)
●3歳児健診	第3水曜日	13:15~14:00	・一般健康診査 ・歯科健康診査 ・育児、栄養相談 ・言語相談(希望者)
子育て何でも相談	第2木曜日	9:00~11:00 13:30~15:00	・身体計測 ・育児、栄養相談 ・歯科衛生士による歯科相談(年3回)
親子でほっとらんど (児童館事業)	隔月第1金曜日	10:00~11:15 (実施時間)	・5~6か月の子どもをもつ保護者同士の交流 ・手遊び、ふれあい遊び、絵本の読み聞かせ等 ・保健師による相談
離乳食もぐもぐ教室 (★要予約)	第2火曜日	9:30~9:50	・4~6か月頃の離乳食の進め方について実習を通して学びます

※ 祝日等により実施日を変更している場合があります。詳しい日程は、広報かとう、ホームページ、CATV等でご確認ください。



保健センターでは、みなさんが自信をもって子育てできるよう応援しています。上記の相談事業のほか、育児に関する悩みや不安など、電話や来所での相談にも応じていますので、一人で抱え込まずお気軽にご相談ください。

【問い合わせ先】
加東市保健センター(健康課)
TEL: 0795-43-0432

令和元年度 成人保健事業体系図

★は令和元年度新規事業

★健康・笑顔・まちプラン 策定(2か年)

集団・個別健(検)診

特定(基本)健診
問診、診察、身体計測、尿検査、
血压測定、血液検査
市独自項目(腎機能、貧血、血清尿酸、★総コレステロール)

まちぐるみ総合健診

がん検診等(集団)
胸部、胃がん大腸がん
前立腺がん、子宮頸がん
(★託児実施)、乳がん、
肝炎ウイルス、骨粗しょう症、
胃 ABC、歯周病

がん検診等(個別)

肝炎ウイルス
子宮頸がん、乳がん

ポピュレーション

加東サンサンチャレンジ~3か月で3kgやせる市民大運動~
開講講座・運動講座・食事講座
メール支援、通信、ホームページ情報配信

健康づくりと介護予防セミナー~世代を超えて~
表彰式、体験談、講演、パネル展示

健康展(秋のフェスティバル)
歯科相談、肺年齢測定、骨密度測定、
血压測定、身体計測
乳がん・CKD予防啓発

ケーブルテレビ(保健センターだより)、
広報(健康がいちばん)ホームページ等

こころの体温計・こころの健康ホットダイヤル

教室・相談

ハイリスク

**まちぐるみ総合健診時
保健指導**
血压、BMI、血糖、喫煙、
睡眠、腎

精密検査受診勧奨

未受診者受診勧奨

健診結果説明会
個別相談会、医師講演会

特定保健指導
積極的支援、動機づけ支援

禁煙チャレンジ週間

重症化予防対策
CKD、血压、糖尿病ハイリスク者訪問等
COPD 啓発

コア会議

健康づくり推進協議会

地域医療連絡会
歯科保健連絡会

若年者在宅ターミナル
ケア支援

地域づくり

元気応援塾・交流会
元気応援隊(健康づくりリーダー)の育成、
活動支援を行い、地域のつながりを深めることで
健康な地域づくりを目指す

元気応援隊活動
子どもの事故予防、減塩、運動等健康づくりの啓発、
実践

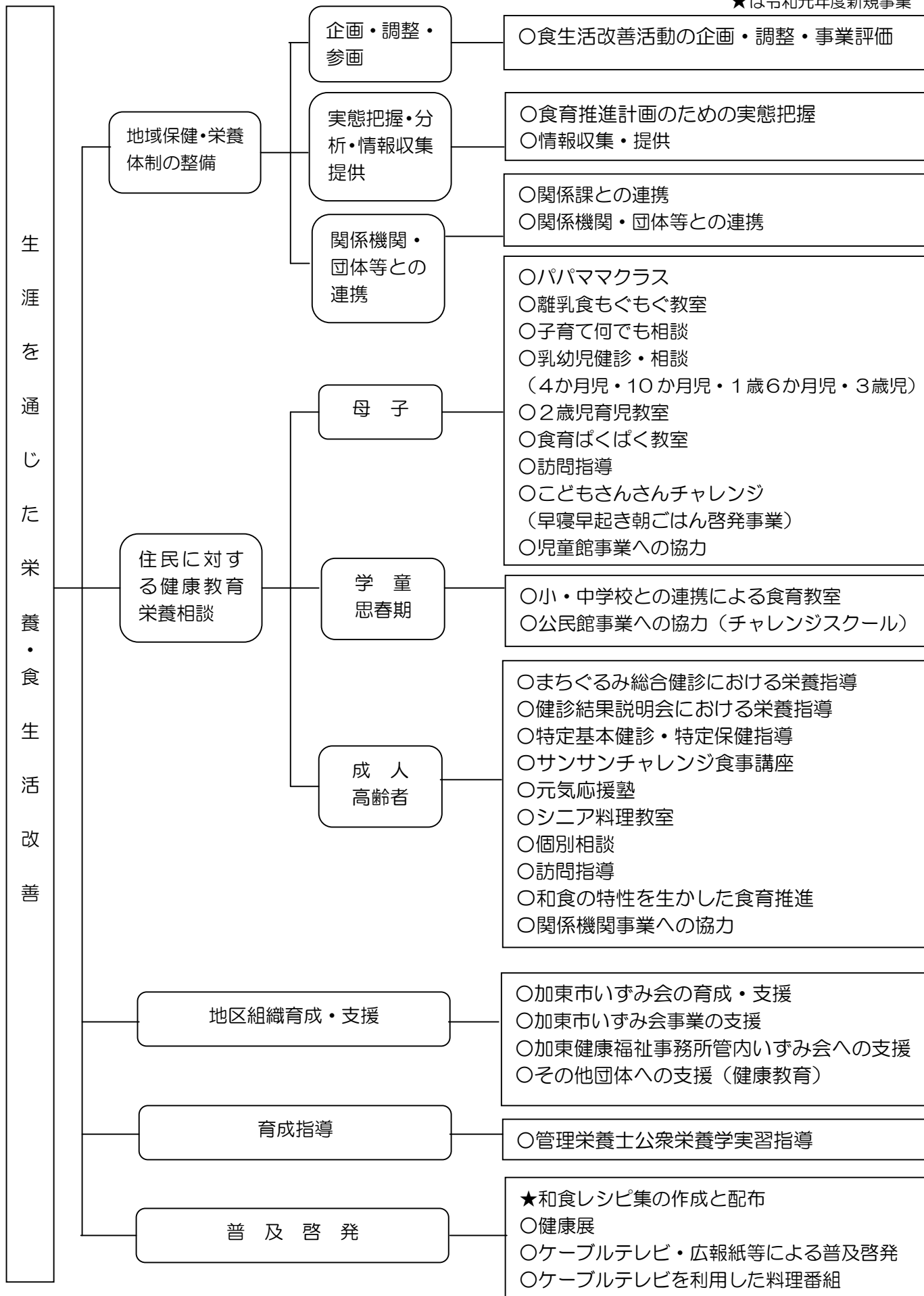
サンサンサポーター活動
サンサン協賛店

ヘルスアップ教室
自主活動支援教室
自主活動教室

**ゲートキーパー
(こころの門番)養成**
こころの健康づくりネットワーク研修

令和元年度 栄養・食生活改善事業体系図

★は令和元年度新規事業



令和元年度 予防接種事業体系図

★は令和元年度新規事業

1. 定期予防接種

	予防接種名	実施時期
A 類	ヒブ	通 年
	小児用肺炎球菌	〃
	B型肝炎	〃
	四種混合	〃
	急性灰白髄炎(ポリオ)	〃
	結核(BCG)	〃
	麻しん風しん混合	〃
	水痘	〃
	日本脳炎	〃
	二種混合	〃
子宮頸がん予防	積極的な勧奨の差し控え (平成 25 年 6 月～)	
★風しん第 5 期	通 年	
B 類	高齢者インフルエンザ	10 月中旬～1 月末
	高齢者肺炎球菌	通 年

2. 任意予防接種＜加東市独自助成＞

(1) 行政措置予防接種

予防接種名	実施時期
おたふくかぜ	通 年

(2) 予防接種費の助成

予防接種名	実施時期
風しん	通 年
23 価肺炎球菌 (内部障害者)	通 年

小野市・加東市医師会

地域医療連絡会

北播磨圏域協力医療機関

令和元年度 予防接種事業一覧

1. 定期予防接種

(各予防接種には、「標準的な接種時期」があります。詳細は、ホームページ掲載)

予防接種名		回数	対象者	標準的な接種間隔
ヒブ	初回免疫	3回	生後2～60か月に至るまで	27～56日
	追加免疫	1回		初回免疫(3回目)終了後、7～13か月まで
小児用肺炎球菌	初回免疫	3回	生後2～60か月に至るまで	27日以上
	追加免疫	1回		生後12か月以降かつ初回免疫終了後、60日以上
B型肝炎		3回	1歳に至るまでの間にある方	1回目から27日以上の間隔をおいて2回目、1回目から139日以上の間隔をおいて3回目
四種混合	1期初回	3回	生後3～90か月に至るまで	20～56日
	1期追加	1回		1期初回(3回目)終了後、12～18か月後
急性灰白髄炎(ポリオ)	初回	3回	生後3～90か月に至るまで	20～56日
	追加	1回		初回(3回目)終了後、12～18か月後
結核(BCG)		1回	生後1歳に至るまで	
麻しん風しん混合	1期	1回	生後12～24か月に至るまで	
	2期	1回	平成25年4月2日～平成26年4月1日生	
水痘	1回目	1回	生後12～36か月に至るまで	1回目終了後、6～12か月まで
	2回目	1回		
日本脳炎	1期初回	2回	生後6～90か月に至るまで	6～28日
	1期追加	1回		1期初回(2回目)から概ね1年後
	2期	1回	9歳以上13歳未満	
	特例	4回未満	<ul style="list-style-type: none"> 平成7年4月2日から平成19年4月1日生まれの方は、20歳になるまでの期間に、1期及び2期の計4回のうち未接種分を接種可能 平成19年4月2日から平成21年10月1日生まれの方は、2期の対象となる期間(9歳以上13歳未満)に、1期の未接種分を接種可能 	
二種混合		1回	11歳以上13歳未満	
子宮頸がん予防		3回	平成15年4月2日～平成20年4月1日生の女子	1回目から1または2か月後に2回目、1回目から6か月後に3回目
風しん第5期		1回	昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性のうち、風しんに係る抗体検査を受けた結果、十分な量の風しんの抗体がないことが判明した方	
高齢者インフルエンザ		1回	<ul style="list-style-type: none"> ①65歳以上の方 ②60歳以上65歳未満の方で、厚生労働省令で定めるもの 	
高齢者肺炎球菌		1回	<ul style="list-style-type: none"> ①65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳又は100歳以上の方 ②60歳以上65歳未満の方で、厚生労働省令で定めるもの 	

2. 任意予防接種

予防接種名	助成回数	対象者
おたふくかぜ	1回 全額助成	1歳以上小学校就学の始期に達するまで(ただし、過去に助成を受けた方は除く)
風しん	1回 麻しん風しん7,000円 風しん3,000円	風しん抗体検査の結果が次のいずれかに該当する方 (A) HI法で16倍以下の方 (B) EIA法で陰性、判定保留、EIA価8.0未満又は国際単位30IU/mL未満の方 (C) LTI法で陰性、判定保留又は国際単位30IU/mL未満の方 (D) ELFA法、CLEIA法で陰性、判定保留又は国際単位45IU/mL未満の方 (ただし、過去に助成を受けた方及び昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までに生まれた男性で、風しん抗体検査の結果が国基準に該当する方は除く)
肺炎球菌	1回 全額助成	内部障害に係る身体障害者手帳を有する方(ただし、過去に助成を受けた方は除く)